

開館20周年おめでとうございます！今作『のび太の新恐竜』を作るにあたり、取材協力、並びに科学考証をお引き受けくださり有り難うございました。

本編の冒頭において、のび太くんが博物館のウミユリの化石に触れるシーンがあります。そのウミユリの化石は、この県立恐竜博物館の最初の展示ルームにつながる通路に展示してある、まさにその化石です。取材で訪れた際、僕は同じようにこのウミユリの化石に触れました。その時沸き起こった感情を、僕はこの映画を作る間中、命綱のように握りしめていました。それは、様々な形を変えながらも現在の自分まで、40億年途切れることなく続く“生命”の存在に対する感動だったと思います。僕はその感動を、物語の中ののび太くんと、そしてドラえもんを観てくれる子供達と共有したかったのです。

恐竜は子供たちにとっても人気があり、今では図鑑や映画などで大人顔負けの知識を持っています。ですが、本物の化石と対面した時、紙面で得る知識とは違う、ある種厳粛な感情に打たれ、なにがしかの思考を強いられます。これは何者にも代えがたい体験です。そのような貴重な体験を私たちや子供たちに与え続けてくれる存在として、福井県立恐竜博物館のさらなるご発展を心よりお祈り申し上げます。

今井一暁

